



# さんじょう

八戸市立三条小学校  
令和2年度学校だより  
第27号  
令和3年 3月26日  
TEL 27-2216

## 令和2年度の教育活動を終えて

校長 河村雅庸

植物の芽が膨らむことは「芽が張る」と表現され、春の語源とも言われています。校地内の木々もつぼみをふくらませ、今年も待望の春が巡ってきました。保護者・地域の皆様にはご健勝のことと存じます。

さて、先日の19日（金）、卒業証書授与式を挙行し、6年生を中学校へと送り出しました。在校生を代表して参加した5年生が見つめる中、ご来賓及び保護者の皆様をお迎えして、感動的な式典となりました。卒業生61名は、この1年、コロナ禍でこれまでと違う生活を強いられたり、各行事等が縮小・中止される中であって、その悔しさを跳ね返すかのように、144年目の三条小学校の歩みを力強く、そして、豊かに前進させてくれました。



そこには、このようなときだからこそ、もっともっと楽しい三条小学校にしようと、笑顔で、力強く、やさしさをもって全校をリードする姿がいつもありました。こうした姿こそが最高学年として一人一人が創り上げた“卒業記念品”だと心から感謝しています。

卒業式では、卒業生の凛とした姿、そして心を一つにした呼びかけと素晴らしい合唱に、体育館が感動で包まれました。お世話になった方々に見守られ、小学校最大の行事を経験したことで、三条小学校の伝統と校風が卒業生から在校生へと

しっかりと引き継がれ、愛校心も深まったものと思います。卒業生一人一人が咲かせるであろう美しい花と、成し遂げるであろう豊かな実りを心から祈っています。

これまで、深い愛情で慈しみ育てられた保護者の皆様に対して、改めて敬意を表し、お祝い申し上げますとともに、ご多用の中、卒業式にご臨席いただきましたご来賓の皆様、地域の皆様にご心よりお礼申し上げます。

そして、本日の修了式で令和2年度の教育活動をすべて終えました。1年生から5年生まで288名そろって進級できますのも皆様のおかげと心から感謝申し上げます。この1年を振り返ってみますと、臨時休業に始まりコロナウィルス感染症対策をとりながらの日々となりましたが、子どもたちの笑顔が途切れることはありませんでした。そこには、多くの皆様のご支援があったからこそと思っています。あらゆる場面で、ここまで支えてくださった多くの方々の真心の深さと温かさを思い返し、唯々感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も、“一人一人の子どもが大切にされ、自分に自信をもち、夢や志を実現していこうとする意欲を抱きながら、逞しく豊かに育つ学校づくり”に、学校と家庭・地域と手を携えて取り組んでいきたいと思っております。令和3年度も、三条小学校をどうぞよろしく願いいたします。

### <卒業記念品>

～玄関前の掲示板を

新しくしていただきました～



最後になりますが、2年間の学校校運営に対してのご理解と、温かなご支援、励ましに心より感謝申し上げます。3月末をもってこの三条から離れることになりましたが、心はいつも三条に寄り添っています。何かの折には、どうぞ、声をかけてください。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。